

花乃井だより

学校
通信

令和3年5月17日(月)
第67号
大阪市立花乃井中学校

※ 5月14日（金）は、本校の生徒が、新型コロナウイルスに感染していることが判明しましたので、臨時休校としました。一日も早い回復を祈っています。また、ご家族の心中もお察しします。今や感染は、誰にでも、いつでも、起これうることになってしまいました。その意味では、現在の爆発的感染は災害であると考えます。各自が様々な対策を講じる中で、互いに協力してこの災害を乗り越えていかなければなりません。

今回は、迅速に保健福祉センターや教育委員会と連携して、校内の消毒作業とともに、濃厚接触者の特定を行いました。区の保健福祉センターも業務がひっ迫している中で迅速に動いてください、その日のうちに濃厚接触者無しとの判断をしていただきました。校内の安全確認ができましたので、本日より学校を再開することができました。

保護者の皆様には急遽の臨時休校措置について、ご理解並びにご協力を賜り、心より感謝申しあげます。今後とも、ご家庭におかれましては、お子さまの健康観察を行い、発熱等のかぜ症状がある場合は、学校へご連絡いただきますようお願いします。また、今回の件につきまして、うわさ等、風評被害が生じないよう、冷静な対応をよろしくお願いします。

オンライン学習のすすめ

「緊急事態宣言」が発出されてからは、午前中は自宅でのオンライン学習・午後は登校して給食と授



業の毎日が続いている。学校に設置されている一人一台端末（ノート型PC）を持ち帰り、Wi-Fiに接続して学習しますが、学習動画やネット検索等による課題学習の他に、Microsoft・Teamsを使っての双方向通信による学活やポイント授業等も行われています。本日もTeamsを使って各クラスで朝の学活を実施しました。

今後もこの日課が続くと思いますので、ここで皆さんにオンラインを使用するにあたっての「著作権や肖像権等に関する注意事項」について、確認しておきたいと思います。トラブルにならないように以下の注意事項をしっかり守ってください。不正な行為とみなされた場合、社会的に処罰を受ける可能性もありますので注意してください。

まず、学校から配信された授業（「Teams」の画像や教材等）に関する著作権は、学校に帰属しています。学校の教員は授業で第三者の著作物を利用する場合がありますが、これは、授業において必要と認められる範囲で利用することが、著作権法35条により例外的に認めみとられています。しかし、皆さんのが、学校から配信された授業等の内容をカメラ

等で撮影したり、コピーして友達や他人に渡したり、インターネット等にアップロードしたり、その他の目的以外に利用したりすることは、著作権法で禁止されていますので、絶対にしないでください。また、授業をしている教員や参加している生徒の皆さんの肖像権やプライバシー権、個人情報を侵害するということでも違法行為になります。もしもそのような違法行為を行った場合には、損害賠償を請求されたり、10年以下の懲役または1,000万円以下の罰金に処せられたりする可能性があります。



【以下の行為は法律で禁止されています。】

- オンライン授業の動画や画像等を録画・録音して、「LINE」や「YouTube」等のSNS上に配信すること。
- 教員や友達の発言や個人が特定できる情報を撮影、録音して、「LINE」や「YouTube」等のSNS上に配信すること。

オンライン学習だけでなく、SNSに関しては、日頃皆さんに行っているメールをはじめとするWEB上の様々なやり取りについて、何かとトラブルが起きています。「悪口を書き込まれた」や「嫌な書き込みをされた」「秘密のことをバラされた」「写真を勝手に公開された」等々…。その都度、話し合い等で解決しようとして、さらにややこしくこじれたりすることも少なくはありません。そして、ネット上でやり取りされたものはいったん拡散されてしまうとすべて削除することは不可能になってしまいます。逆に画面の向こうにいる顔が見えない相手のことを100%信用して大きな事件や事故に巻き込まれた人は数多くいます。今やSNSは私たちの生活や仕事に必要不可欠なツールとなっていますので、ルールを守って賢く活用していくことが大切です。著作権や肖像権、プライバシーを尊重し、相手に思いやりを持ってオンラインやSNSを活用していくようにしましょう。

近畿地方も梅雨に入りました。

昨日、気象庁から東海地方とあわせて「近畿地方は梅雨入りしたと見られます。」との発表がありました。近畿地方では、平年より21日早く、昨年より25日早い梅雨入りで、1951年の統計開始以来最も早くなつたそうです。これからしばらくはジメジメした日が続きます。日頃の感染症対策に加えて、登下校や校内の安全にも気を使いながら、体調を崩さないように、ケガをしないようにさらに気をつけていきましょう。

